

目 次

第Ⅰ章 事業活動におけるノウ・ハウの地位

1. はじめに	1
2. 技術援助契約におけるノウ・ハウ	2
3. 発展途上国への技術援助	5
4. ノウ・ハウを目的とする国際取引の諸形態	6
5. ノウ・ハウをめぐる利益の対立	8
6. 競争とノウ・ハウ	9
7. ローマ法におけるノウ・ハウ	11
8. 職人とノウ・ハウ	12
9. 個人のプライヴァシー	13
10. わが国の法律におけるプライヴァシーの保護	14
11. 企業のプライヴァシー	18

第Ⅱ章 ノウ・ハウとトレード・シークレッツ

1. 「ノウ・ハウ」の用語	21
2. わが国の法律における「ノウ・ハウ」の表現	23
3. 「ノウ・ハウ」の語義	26
4. ノウ・ハウの分類	27
5. ノウ・ハウ所有者の法的地位	29
6. ノウ・ハウとトレード・シークレッツの相違	30
7. アメリカ合衆国の判例における「ノウ・ハウ」	41

2 目 次

第Ⅲ章 企業におけるノウ・ハウの管理

1. ノウ・ハウの秘密保持	43
2. ノウ・ハウをめぐる当事者関係	44
3. 秘密漏えいの危険	45
4. 秘密保持の手段	46
5. 使用人による秘密漏えい防止	47
6. 雇用契約における秘密保持義務	49
7. 使用人発明契約における秘密保持義務	49
8. アメリカ合衆国における企業の慣行	54

第Ⅳ章 ノウ・ハウと特許

1. 発明管理における政策的考慮	69
2. ノウ・ハウと特許の基本的相違	70
(i) 権利の確定性	70
(ii) 権利の存続期間	71
(iii) 排他性	72
(iv) 秘密の性質	73
(v) 新規性	75
3. 財産的価値を維持する要件としての秘密保持——Bristol v. Equitable Life Assurance Soc. 事件	77
4. ノウ・ハウの財産的性質	79
5. 信頼義務違反の法理——Du Pont de Nemours Powder Co. v. Masland 事件	82
6. アイディアの保護——Belt v. Hamilton National Bank 事件	83
7. 新規性のある広告アイディア——Liggett & Myers Tobacco Co. v. Meyer 事件	84

8. 特許出願中の発明——Sandiln v. Johnson 事件	85
9. 「ノウ・ハウ」の法的性質——Rolls-Royce Ltd. v. Jeffrey 事件	87
10. ノウ・ハウの国際的保護	88

第V章 ノウ・ハウの保護に関する法律案

1. ノウ・ハウ保護に関する国際商業会 議所決議	93
(i) 沿 革	93
(ii) 決 議	94
(iii) 解 説	96
2. BIRPI「発明に関する発展途上国のための模範法」	98
(i) 沿 革	98
(ii) 指導原理	101
(iii) 技術的ノウ・ハウに関する規定	101
(iv) 特許規定の類推適用	102
(v) BIRPI 解説前文	104
(vi) 各条の解説	106

第VI章 アメリカ合衆国における技術情報の輸出規制

1. 政府機関	111
2. 規制の目的	113
3. 法 規	113
4. 規制の対象	114
5. 商務省国際通商局輸出管理課	115
(i) General License	117
(ii) Validated License	123

4 目 次

6. 国務省	123
7. 特許局	124
8. その他の政府機関	127
(i) 国防省	127
(ii) 財務省	127
(iii) 原子力委員会	128
9. 問題点	128

第Ⅶ章 技術援助契約とノウ・ハウ

1. 技術援助契約締結の動機	129
2. 契約締結の交渉とノウ・ハウの秘密保護	131
3. 契約書前文	133
4. 定 義	134
5. ライセンスの付与	134
6. 実施料	136
7. 技術役務の提供	138
8. フィード・バック・ライセンス	139
9. 秘密保持条項	139
10. 輸出制限	141
11. 契約終了後における技術情報の返還と競業禁止	142
12. ホールド・ハームレス	145
13. ノー・ワランティー	146
14. 契約準拠法	146
15. 紛争の解決——裁判と仲裁	149
16. 課 税	154
17. 国際法的側面	158

第Ⅷ章 各種の契約におけるノウ・ハウ

1. 一般	161
2. 発明およびアイデアの売込み	162
3. オプション契約	164
4. 商標および製法のライセンス契約	165
5. 秘密製法の売買契約	166
6. プラント輸出契約	168
7. 石油コンセッション契約	172
8. ディストリビューター契約	172
9. デザインに関する契約	173
(i) デザイン製作契約	173
(ii) 服装デザイン展示	175

第Ⅸ章 ノウ・ハウの不正使用および無許諾開示

1. 技術情報, ノウ・ハウの不正使用および無許諾開示	177
2. 民事責任	179
(i) 日本	179
(ii) イギリスおよびアメリカ合衆国	179
(iii) ドイツ連邦共和国	182
(iv) その他のヨーロッパ諸国	184
3. 国際的側面	185
4. 刑事責任	186
(i) 日本	186
(ii) アメリカ合衆国	187
(iii) イギリス	189
(iv) フランス	189
(v) ベルギー	190

6 目 次

(vi) その他の諸国	190
5. 窃取した発明にもとづく特許と発明者の保護.....	191
(i) 日 本	191
(ii) アメリカ合衆国	192
(iii) イギリス.....	193
(iv) ドイツ連邦共和国	194
(v) フランス.....	195
(vi) カナダ	196

第 X 章 企業秘密と産業スパイ

1. 問題の所在.....	197
2. 産業スパイ活動の動機.....	198
3. 産業スパイ行為の手段.....	199
4. わが国の産業スパイ事件.....	200
(i) 凸版印刷株式会社事件	200
(ii) 鐘淵化学工業会社大阪工場事件	203
(iii) 旭化成延岡食品工場事件	205
5. トレード・シークレッツに関するロバート・アイリス博士の 談話.....	206
6. 技術者による秘密漏えい.....	209
7. 技術者の道德基準.....	212
8. 国際産業スパイ	214

第 XI 章 ノウ・ハウと制限的取引慣行の規制

1. 競争と独占の法理.....	217
2. 各国の反トラスト法.....	220
(i) 日 本	220

(ii) アメリカ合衆国	221
(iii) イギリス.....	223
(iv) ドイツ連邦共和国	225
(v) フランス.....	227
(vi) オランダ.....	227
(vii) カナダ	228
3. 代表的な制限的条項.....	229
(i) タイ・イン条項	230
(ii) 再販売価格の制限	230
(iii) 販売地域の制限	231
(iv) 不使用の特許に対するローヤルティー	232
(v) クロス・ライセンスおよび特許プーリング	232
4. ヨーロッパ経済共同体の反トラスト法.....	233
(i) 経済共同体の目的と工業所有権.....	233
(ii) ローマ条約第85条および第86条.....	235
(iii) ローマ条約第85条および第86条の第1施行規則	238
(iv) 特許およびノウ・ハウに対する第85条第1項の適用除外	240
(v) 協定および協調的慣行の類型に対する条約第85条第3項の適用に 関する理事会規則	246
5. ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体の反トラスト法.....	248
付A ノウ・ハウ実施契約チェック・リスト.....	251
付B 参考文献一覧.....	255
付C 判例索引.....	263
付D 契約条項例索引.....	265
付E 条約・法令条文索引.....	267